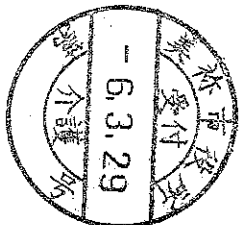


自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述
I 理念・安心と安全に基づき運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意識をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>Ⓐ 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>理念は事業所内に掲示、各自の名札にも個人理念を明記し前礼時に唱和。理念を共有してから業務に入っている。一年を通じて、理念をテーマにした研修を行い、職員全員で意識統一を図り、統一された質の高いケアが提供できるように努めている。年度の目標として、各職員が理念を元にして、利用者様にとってどのようなケア者でありたいかを考え、スタッフ会議で発表し、他の職員に自分の思いや目標などを知らせてもらうことで自分自身の意識の向上に役立てている。</p>	<p>・入居者が地域とつながりを保ちながら暮らせるように、事業所が地域の一員として日常的に交流している。</p> <p>・近所から生まれる期待は、その人の暮らしの継続性にも反映される。</p> <p>・地域とのつながりの一環として、新たな試みがなされている。</p> <p>・若い世代との交流機会を増やし、将来的な担い手を育てる。</p>		
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>Ⓐ 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>地域の「おにがアネットワーク」(地域の施設・医師・市が参加している認知症の理解を深める会)にZoomで参加し、地域の中で認知症のあり方について多職種間で話し合う機会を大切にしている。オンラインセッションを通ず中で、各職種のエキスパートから得られる新しい知識や認知症の対応のリアルな事例をもとに話し合いを出来る場とし、参加継続している。こちら側からの意見も求められることも増え、日頃の定影などで話しすることが出来ない内容もあり、ケア者として発信できる場面も増えた。今年度初のケアマネ見学会や訪問看護導入に向けての準備等、新たな試みにも積極的に取り組み、次年度に繋げる為の行動が実行できた。</p>	<p>・地元の人もイベントの参加ではなく、日々の生活を見てもいいと思う人になって時間と余裕のできた方々から、気軽に声かけられる関係性が築けたらいいのでは感じる。</p>		



			<p>現在、日常生活自立支援事業をご利用の方がおられる。後見制度を利用することで利用者の尊厳を確保できる支援をする。利用者様の手帳、専断が守られる支援を継続したい。</p>	/	/	<p>・職員のアセスメントのためにも、環境作りが継続されるとよい。</p>
<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p>	<p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>入居契約書と重要事項説明書を入居時に説明と共に、利用者様、ご家族とも納得した上で契約をできるように説明する際には不透明さをなくすように心がけている。料金設定などあれば文章作成して変更時に押印を求め、納得できないことがあれば即時対応出来るように、家族が自由に記入できるご意見・受付書も同封し、対応できるように努めている。</p>	/	/	
<p>契約に関する説明と納得</p>	<p>契約の締結、解約または改定等の際も、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>意見箱の設置、第三者窓口を社協にお願ひしていることを契約時に説明。ご来館時や運営推進会議への参加の際にお声掛けして意見や要望等を伺い、直接いただいたご意見は、スタッフ会議で御座り上げて改善し、運営推進会議にてご報告している。苦情受付の書面を作成し、定期的にご家族に送付。いつでも苦情や不安事項に対して受け付けできるオンラインな環境に努めている。年末の運営推進会議において、お寄せいただいた意見・苦情、アンケート等の内容をまとめてお示しするようにしている。</p>	/	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・意見、要望などが言いやすい環境づくりや家族とのコミュニケーションを大切にされており、意見を吸い上げ、ケアに反映させていく仕組みが構築されている。 ・家族からの要望とその対応について、運営推進会議での発表を継続するとともに、意見を求めるとよい。 ・個人的な意見や要望を、ブログやボードに配慮しながら対応されている。 ・様々な意見や要望を取り上げてオンライン上、前向きに検討されている。 ・家族からの意見の反映の受け付け方法等に関して、より分かりやすく説明してほしい。</p>
<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p>	<p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>日々の業務の中で、常勤正社員は職員の意見を吸い上げて、ケアポイントミーティングや月に1回のスタッフ会議で話し合い、改善に努めている。意見が上がれば何度でも検討して業務改善に努めている。新人もノートを作って振り返り、不安や疑問を明確化することで聞き取りやすくしている。</p>	/	/	
<p>運営に関する職員意見の反映</p>	<p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞き、機会を設け、反映させている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>就業時間内に業務が終わるよう時間の使い方についてスタッフ会議を利用して業務改善に努めている。職員間でコミュニケーションを深めるために大切な共有すること、声を掛け合うことを意識し、各員3人で協力している。ケア経験者は率先して新人に対して指導を行い、信頼関係を深められるように努めている。国家資格などの資格取得にも力を入れ全面的に協力する環境も整えている。</p>	/	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・スタッフ会議で業務改善、職員間のコミュニケーションに努められている。 ・限られた職員で入居者への対応が忙し過ぎる。 ・ゆとりのない勤務体制の状況で、ヒヤリハットが起こらないか心配。 ・リフレッシュしながら仕事ができる環境作りに取り組んでいる。 ・職員同士、しつかりコミュニケーションが取れている印象。 ・やりがい、やめ職防止を含めた対策が必要かもしれない。</p>
<p>就業環境の整備</p>	<p>代表者や管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>		/	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	

12	職員を育てる取り組み	<p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実践と力量を把握し、法人内外の研究を受けける職員の健康や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>① 十分にできている ② ほぼできている ③ あまりできていない ④ ほとんどできていない</p>	<p>理念に関する目標を明確すること、個々の目標が明確になり、ケアの質や技術の向上にも役立っている。ケア雑誌「おはよう21」を活用したプチ研修を順番に全職員で実施することにより、実践に役立ってきた研修ができており、職員のケアの技術の底上げにも役立っている。コロナ禍のため苑外研修の参加は減っているが、実践者研修や初任者研修など、自己研鑽に反映できる研修には積極的に参加している。</p>	<p>① 十分にできている ② ほぼできている ③ あまりできていない ④ ほとんどできていない</p>	<p>・各種研修会に積極的に参加できている。ケアの質や技術を高める研修が工夫されている。 ・苑内研修において、具体的なケアの向上、実践に役立っており、優秀な人材が育っている。 ・職員が、個々のレベルを上げてほしい。 ・職員の意見の反映、就業環境の整備がほばできているという評価に対し、職員を育てる取り組みが充実できているというのほなぜなのか。</p>
13	同業者との交流を通じた向上	<p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>① 十分にできている ② ほぼできている ③ あまりできていない ④ ほとんどできていない</p>	<p>Zoomを利用し、「かにケアネット」の参加をし、同業者だけではなく多職種の方々との情報共有やサービス向上のための勉強会などに参加しており、研修内容は初年度スタッフ会議において復命し、職員全員に周知している。</p>		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を楽しんでいる</p>	<p>① 十分にできている ② ほぼできている ③ あまりできていない ④ ほとんどできていない</p>	<p>利用者様の生活歴をしっかりと理解することによって本人の得意分野やできる力に目を向け、できる力を十分に発揮できるようにケアに当たっている。入居しても本人様が生活を諦めることなく、苑生活の中に「生きがい」を見つけていただけたるように努めている。</p>		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	<p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>① 十分にできている ② ほぼできている ③ あまりできていない ④ ほとんどできていない</p>	<p>コロナの感染対策を行いながら、行きたいお店の実察院(遠方も含む)や商店にも出掛けていただいている。ご家族の方と昼食を一緒に過ごされたり、外食も相談に応じて行っていたりしている。少しでも顔を買ながらお話ししていただき、馴染みの関係が途切れないうようにしている。季節の便り(はがき、手紙)などは、書きたい方にはすぐに郵送できる支援をしている。</p>	<p>・馴染みの人や場との関係継続の支援が充分行えている。 ・季節の便りを書きたい相手に書くこともでき、調理補助、買物、野菜作りなど、利用者のニーズに合わせた支援が実際に行われている。 ・家族が苑に来られれば普段の生活が買られると思う。何もなくても、そばで見ているだけで、今どのくらいできるのかが分かる。 ・苑内で一日一緒に過ごしたら、様子がわかると思う。苑に宿泊されたという話にはとても興味がある。</p>	

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

<p>8 思いや意向の把握</p>	<p>一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。</p>	<p>A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない</p>	<p>入居時には担当の居宅ケアマネより情報をいただき共に、センター方式を利用してご家族にもご協力をいただき、本人様・ご家族の思いや生活歴等の把握をするように努めています。入居後には職員が、本人からの聞き取りや日々の言動や行動から思いの把握に努め、担当者が定期的にセンター方式を更新しています。日々の生活の中で気づいたことや音動を、アセスメント表や個人記録に記入し、変わらぬ思い、変わりゆく思いを共有できるようにしています。意向の把握が困難な方には、感情や行動などから思いを探り、ご家族の意見も参考にしながら職員間で検討している。</p>	<p>本人様の意向をお尋ねした上で、電話や手紙・面会等を利用して家族の思いを把握、受診時の主治医の意見も参考に、本人様・管理者・担当スタッフ・計画作成者を中心に、1か月に1回または必要に応じてモニタリング、介護計画を見直しを行い、3か月毎に介護計画を見直している。状態に変化があれば、ケアミーティングを設けて現状に即した介護計画を作成している。介護計画は、利用者様・ご家族・担当スタッフにも配布すると共に個人記録表にもセットして把握しやすいようにし、日々のケア担当者は介護計画に沿ったその日の目標を決め、実行・評価を行っている。</p>	<p>現状に即した柔軟な介護計画を作成している。 更なる現状に即した柔軟な介護計画と実行報告を求める。</p>	<p>A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない</p>	<p>・本人、家族の意向が尊重され、介護計画が決定されている。 ・日々変化する入居者の状態に合わせて介護計画の風直しが行われ、柔軟な対応ができている。</p>
<p>9 チームでつくる介護計画とモニタリング</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やニーズを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない</p>	<p>本人様の意向をお尋ねした上で、電話や手紙・面会等を利用して家族の思いを把握、受診時の主治医の意見も参考に、本人様・管理者・担当スタッフ・計画作成者を中心に、1か月に1回または必要に応じてモニタリング、介護計画を見直しを行い、3か月毎に介護計画を見直している。状態に変化があれば、ケアミーティングを設けて現状に即した介護計画を作成している。介護計画は、利用者様・ご家族・担当スタッフにも配布すると共に個人記録表にもセットして把握しやすいようにし、日々のケア担当者は介護計画に沿ったその日の目標を決め、実行・評価を行っている。</p>	<p>日々の言動や状態の変化は、その日のケア担当者が個人記録表やアセスメント表に記入し、特記事項はリーダーが介護業務日誌に記入して、管理者へ報告し共有している。変化の激しい方やかリケアを行き届かせなければならない場合には、別紙ケア記録に状況の詳細を記入して情報を共有、それを元にケアプランの風直しに役立っている。ケアについての変更事項はカーテックスに記入し、申し送り時に読み上げ、全員に周知できるようにしている。</p>	<p>現状に即した柔軟な介護計画を作成している。 更なる現状に即した柔軟な介護計画と実行報告を求める。</p>	<p>A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない</p>	<p>・本人、家族、職員が情報を共有し、同じ方向に向かっている。 ・介護計画の目標や入居者・家族の意向にそって日々の業務が実行されている。</p>
<p>10 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p>	<p>一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。</p>	<p>A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない</p>	<p>本人や家族の状況、その時々を生みだすニーズに対応して、既存のサービスに捉われない柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>既存のサービスにとらわれず、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 ・入居者個々の状況・ニーズに合わせて柔軟に対応され、引越支援などの新たなサービスにも取り組まれている。 ・居室の使い方について、未婚関係にある方に対して、書斎・個室仕様でのサービスに対応されている。</p>	<p>A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない</p>	<p>・職員の間で切れ目なく情報の連携を行える仕組みが構築できている。 ・職員同士の情報共有と個別での対応ができている。 ・介護計画の目標や入居者・家族の意向に沿って、日々の業務が実行されている。</p>	

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しめることができるよう支援している	<p>A 十分にできている</p> <p>B ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>近隣の馴染みのスーパーやホームセンター・美容院・道の駅・コンサート等には継続して出向き、楽しみが持てるようにした。利用者様からのご希望や昔の顔なじみのお店にも出向いたり、金福社の近くに住んでいたであろう高校の同級生の友人を探し歩いたり、昔の記憶を復活させる寄り添いをした。また避難訓練の際に、昨年同様、消防署のみではなく地区の消防団員の方にも毎回参加していただき、指導・助言をもらっている。</p>	<p>近隣の馴染みのスーパーや季節に応じた外出等が行われ、苑だよりにて生き生きと楽しんでいる様子がうかがえる。散歩や畑作業などの地域資源を利用しながら支援されている。</p>	
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	<p>A 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>基本例には、入居前からのかかりつけ医を継続され、受診時にはご家族が付き添い、当苑での生活状況を書面にて医師に伝えるようにしている。ご家族の付き添いが難しい場合は、苑スタッフにて付き添いまたは電話による受診対応を行っている。苑の協力医をかかりつけ医とされた場合は、月2回の訪問診療、個別については必要に応じて往診していただいている。入居時には夜間や休日などの緊急時の救急受け入れ先の希望を、第1～第2希望まで伺っておき、スムーズに対応できるようにしている。要診結果は電話や面会時にご家族に伝え、職員間ではカーテックス・個人記録表に記録し共有している。また、緊急入院に備え、ご家族と共に、主治医と受け入れ病院の医師との間で事前に体制を整え、スムーズな入院ができるように確立された例もある。</p>		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>A 十分にできている</p> <p>B ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>入院時には、医療機関に直前までの生活状況と認知面の特徴やその人に合った苑での対応方法等の情報提供をしている。コロナの影響で病院での面会ではできなかつたが、ご家族や地球連携室から情報を聞き取り退院に備えた。入院中に認知症により身体拘束が必要となられた方については、拘束による身体能力の低下・認知症の悪化を防ぐため、早期の退院ができるように苑の協力医にも相談し、退院受け入れ体制を整えている。退院前には地域連携室と密に連絡をとり、退院カンファレンスに出席して退院後の生活が円滑にいくように情報を共有、ケアプランを立てて支援に繋がっている。</p>	<p>・入院時、病院との情報交換をしっかりとされ、早期の退院に繋がっている。</p> <p>・運営推進会議での発表からも、最善の努力をされていることがうかがえる。</p> <p>・家族が入院した際、状態を細かく把握されており、家族として安心できた。</p>	<p>A 十分にできている</p> <p>B ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に	<p>A 十分にできている</p> <p>B ほぼできている</p>	<p>入居時に意向確認書についてご家族に説明して重度化・終末期についての意識付けをしている。終末期を迎え</p>	<p>・重度化や終末期について、家族への事前説明・意向の確認が共有できている。</p>	<p>A 十分にできている</p> <p>B ほぼできている</p>

	説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	るにあたりご家族には、宛てて過去に行った支援の事例を交えて説明し、本人様の思い、ご家族の思いに沿ってできる限りの支援が行えるよう、医療機関や他施設への支援もきめて方針を決め、スタッフ間で共有しながら支援に取り組んでいる。終末期を迎えた利用者様ご家族に対し、主治医からの説明のお話し、急変に対する職員の対応の統一を図った。最終的には主治医もご家族も納得できる事ができ、ご家族様もご納得できるお看取りが出来たのではないかと思います。	/	D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議での発表からも、施設での看取りを含めた事例等から具体的にイメージできる。 ・入居者、家族の思いに寄り添うよう、今後も継続して努めていきたい。 ・記述だけでは施設側が何を知らたいかわからない。養生措置拒否については社会通念の醸成が必要。
急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルの見直し、作成の実施。救命による緊急時時の対応研修の実施。夜間対応、症状別対応のマニュアルを整備、全職員に配布、各事務所に掲示、スタッフ介護を活用し、職員間での共有を実施。今後は職員の機度を上げ、統一した対応ができるように研修を重ねている。急変に対する研修を行うことで対応の練習を行い、医療との連携強化に努めている。	/	/	/

25	災害対策	<p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>当苑は自然災害危険地域に指定されていないため、苑待機が基本。職員と通勤経路が遮断される可能性を考慮し、第二・第三経路、迂回経路を各職員が書き出し、スタッフ会議でどのくらいの時間で平常業務が可能になるかの検討はすでに完了している。市町から配布される災害マップの更新やBOPの見直し、職員の変更があった場合は、速やかに非常連絡網の更新を行う等、全職員が対応できるような体制を作り、研修を重ねている。</p>	<p>・苑の自助努力・共助公助を求める基本が示されている。 ・全職員が対応できるような体制を作り、研修を重ねている。 ・年2回実施される避難訓練では、職員が書き出し、スタッフが脚けている。地域の間も協力している。 ・入居時に災害マップを示し、避難計画を家族に説明しておくよ。 ・災害が起きた時は、職員の人数も制限されているが、家族にまで連絡し、人を置くことは不可能だと思ふ。状況が落ち着いてからの対応になる。災害の際は地域の人の協力を最大限活用できるように体制を強化していくことが大専。</p>	<p>・定期的に避難訓練等も実施され、その頻度会議等で検討もできている。 ・日常レベルでの各機関や地域とのコミュニケーションがしっかり取れている。 ・災害時、職員だけの対応は困難な場合があるため、地域との連携・協力依頼の実施が望まれる。 ・地域の災害マップの確認、更新ができている。 ・苑待機は良いとしても、家族に対して早い段階で伝えるツールが必要ではないか。</p>
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	<p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>声掛け一つで尊敬を奪ってしまいうため、ベテラン職員から新人職員へ、利用者様からのようなことに対してご不安があるか、人格や個々の価値観を尊重し、敬い、特に言葉遣いには十分配慮し、不快にならないような声掛けを指導している。その方が、何を一番求めているか、「寄り添い」を職員間のモットーとして引き継ぎ支援できるよ。まずは本人様の生活歴や大切にされている価値観の把握の共有に努め、基本ケアを徹底、声掛けを統一したケアが行えるように、スタッフ会議内でもロールプレイングを活用した研修を取り入れ、意識の共有、平均化に努めている。</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・入居者の生活歴や価値観等を職員間で共有し、支援されている。 ・利用者の受け取り方にも配慮した対応に努めている。 ・在宅での介護を考えると、ここまで寄り添いができないと嘆息。 ・入居者の性格や病状に理解を示して、丁寧に対応されている。</p>
27	日々の暮らし	<p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>本人様のペースで生活していただけのように、ストレスになる要因を可能な限り取り除き、安心して生活していただけるように支援している。お好きなこと(散歩、読書、趣味、リハビリ等)を日課として生活パターンに取り入れて寄り添いを行っている。ご家族が支援できないことでも、利用者様からの希望があれば、ご家族と相談しながらできる範囲での支援を行っている。朝が苦手な方や、夜間不安で休まらない方には、個別で寄り添いを行っている。</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・入居者の生活歴や価値観等を職員間で共有し、支援されている。 ・利用者の受け取り方にも配慮した対応に努めている。 ・在宅での介護を考えると、ここまで寄り添いができないと嘆息。 ・入居者の性格や病状に理解を示して、丁寧に対応されている。</p>

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

<p>28 食事を楽しむこと できる支援</p>	<p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>苑のアピールポイントは手作りです。利用者様の健康や好みを考え、献立を立案。苦手な野菜があれば、代替のメニューを提供し、味や調理法にも、利用者様の意見を即時に取り入れて対応している。苑で収穫した野菜や、差し入れの野菜を使い、利用者様と一緒に下ごしらえ、盛り付け、配膳、片付けまで行う支援をしている。苑内調理で、作る工程の音や匂いを感じていただき、職員も食事を囲み、会話などでも食に対する楽しみを持つていただけるよう支援している。今年度は、利用者家族様からいただいた花を干し箱にする準備や、利用者様からテレビでみた献立のリクエストに応じる等、会話の中で聞ける食に対する話もいくつか受けとめて実行している。</p>	<p>Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者と職員が一緒に配膳や片付けを行うことで、食事の時間が楽しみになるよう工夫がされている。 ・入居者の食事のリクエストにもできる限り対応している。 ・家庭的な雰囲気や利用者の嗜好に合わせた細かい配慮を行うことで、高齢者の楽しみ方の一つである食をより充実したものにしている。 ・苑内で栽培した野菜を利用するなど、手作りにこだわった料理を提供している。 ・利用者一人ひとりの飲み込み度合いや噛む力に合わせた食事を提供している。 ・季節の行事や誕生日など、イベントに合わせた特別メニューを提供している。 ・入居者が個々のできる力を活かして一連の作業に参加することで、食べる喜びをより深く感じることができている。 ・本人が食べられない食事について、食べられるもので提供されている。
<p>29 栄養摂取や水分確保の支援</p>	<p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を過ぎて健康できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に合わせた支援をしている</p>	<p>Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>栄養とクレンジングを年に2回行い、栄養状態の把握に努めている。本年度より、栄養管理委員会を立ち上げ、食事形態や内容が迅速に変更可能なように、ノートでのやり取りを通じて日々改善できている。栄養が取りにくいリスクの高い方へは、医師と協力してケアプログラムに取り入れ改善に努めている。利用者様一人ひとりの体調、月1回の体重測定による体重の変化を把握し、その方の状態に合わせて柔軟に対応している。夏場や夜間に限らず、脱衣にならない十分な水分補給を行っている。</p>	<p>Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医とも連携しながら、適切に口腔ケアを行える環境づくりがされている。 ・個々に合わせた口腔ケアをされている。 ・利用者の状態に合わせて、ブラシや洗剤などの適切な選択が行われている。 ・食後の声掛けが徹底されており、入居者自身も口腔ケアを習慣化している。 ・苑の中での支援にとどまず、認知機能が低下する前に、早い時期からの歯科治療の必要性を地域の人に伝えてもらいたい。 ・一部の入居者において、歯石の付着が臭られるとの指摘があった。
<p>30 口腔内の清潔保持</p>	<p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>毎食後、個々に合わせた口腔ケア（うがいや歯ブラシ）は、歯磨きペーストやスポンジブラシを使用し、口臭が気になる方へは、モントミンなどを歯科医に相談の上使用を行い、個々に合わせたブラシ選びやケアの仕方を考えて実施している。週に3回、ガリタブレットを実施し、週に3回、ガリタブレットを実施し、週に3回、ガリタブレットを実施している。週に3回、ガリタブレットを実施している。週に3回、ガリタブレットを実施している。</p>	<p>Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の排泄パターンを記録されており、自立に向けた支援が行えている。 ・苑内研修でもほぼ毎回排泄について取り上げられ、重要な問題として個々に合わせた支援がされている。
<p>31 排泄の自立支援</p>	<p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>個々の排泄パターンやタイミングを把握するため、排泄時間を記録し、トイレ誘導の声掛けを工夫し、拒否無イイレでの排泄が促されるよう努めている。自力で排泄が困難な時は便圧をかけるなどの介助も行っている。また、一人ひとりに合わせてパット類を</p>	<p>Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の排泄パターンを記録されており、自立に向けた支援が行えている。 ・苑内研修でもほぼ毎回排泄について取り上げられ、重要な問題として個々に合わせた支援がされている。

92	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A 充分にできている <input type="radio"/> B ほぼできている <input type="radio"/> C あまりできていない <input type="radio"/> D ほとんどできていない	<p>検診、日中はリハビリメニューでトイレの便秘予防として、体操、散歩を取り入れ、水分をしっかりと摂取できるように職員全体で把握し支援している。</p> <p>個人の入浴の願望を優先させ、マンツーマンで希望のタイミングで入浴を楽しんでいただけるよう支援する。一人での入浴を希望される方については、側で見守り、声掛けして安全確認をし、リラクセスしていただく。入浴拒否のある時は、時間や人を替えての声掛け等、工夫して、入浴に結びつける努力をしている。時間なども本人の希望に沿えるよう施行している。石鹸を馴染みのあるものにして対応するなど、心のリラクセスを心掛けていく。体調に合わせて、清拭、足浴、手浴など、時間を問わず行っている。</p> <p>体調やその日の気分を確認し、日中は体操や散歩など、体を動かす支援のほか、料理や洗濯物たみかなどの生活支援を行い、安眠に繋がるように努めている。冷えが気になる方には、入床前に足湯を行っており、眠れない時には職員とお茶を飲みながら傾聴しつつ傾眠・安眠へのアプローチを行っている。</p>	<p>定期的な排泄をうながされ、本人の訴え時はすぐに対応されている。</p> <p>徐々にできることが減っていく入居者に適切なギアチェンジも大切。</p> <p>自宅にいた時は失禁があったが減って、常に清潔にされている。</p>	
93	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休憩したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A 充分にできている <input type="radio"/> B ほぼできている <input type="radio"/> C あまりできていない <input type="radio"/> D ほとんどできていない	<p>居室・薬剤師と連携しながら、薬の目的、副作用について、職員間で共有できている。</p> <p>一人ひとりの服薬について、職員は理解できており、適切な服薬が継続できている。</p> <p>一人ひとりの服薬について、職員は理解できており、健康状態、薬の状態も専ら門前と共有できている。</p> <p>薬手帳を誰が管理するかの確認が必要で、できれば自宅管理したい。</p> <p>新しい薬が増えたことに説明がなかった。既往症にない病気の薬なので、医療関係者として気になった。報告していたら希望する。</p>		
94	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A 充分にできている <input type="radio"/> B ほぼできている <input type="radio"/> C あまりできていない <input type="radio"/> D ほとんどできていない	<p>居室薬管理を利用し、薬の管理を深めたい。受診後の薬変更がある時には、目的、副作用などを質問し職員と共有、把握ができるように助言をいただいている。服薬後体調変化があればすぐに医師、薬剤師に相談している。一人ひとりがどんな服薬をしているか、薬の効果等一目で分かるようフイルムを作成している。サブリメントなどを服用される方については、お預かりして忘れられることのないよう支援している。</p>	<p>充分にできている</p> <p>ほぼできている</p> <p>あまりできていない</p> <p>ほとんどできていない</p>	
95	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B ほぼできている <input type="radio"/> C あまりできていない <input type="radio"/> D ほとんどできていない	<p>入所者自身で個々に合った役割を持ち、生活歴を重視し、得意なことや役割分担が行われている。</p> <p>トランプ、歌、調理補助などの楽しみごとが充実しているように見受けられる。</p> <p>季節の行事に取り組み、刺激のある時間を過ごしている。</p> <p>介護度が高い場合でも、楽しみごとに参加できていることは大変だと思う。よく支援されていると思う。</p>		

36	日常的な外出支援	<p>一人ひとりのその日の希望によって、戸外に出かけられるよう支援に努めています。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援しています。</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>日常的に散歩や外出したい要望があればご一精し、季節を感じて気分転換していただいている。地元のお店への買い物、行き付けの美容院、地域の行事にも参加できるように支援を行っている。</p> <p>家族が運営している「ギヤラリー」や「あさがお」で出会った美南市在住のロックンビトからの声掛けで実施した芸術村コンサートに代表出演、そのコンサートに利用者様家族様様が聞きに行くと、芸術に魅れることで五感に刺激を受けて、気持ちを前向きに苦返っていた。活動に尽力している。12月には県外で行われた第九コンサートに代表出演、聞きに出かけた。新しく入居された利用者様は合唱団に入っていた経緯があり、行きは下向きの姿が見られたが帰りの車中は興奮した二様で話されていた。</p> <p>基本的に小さくは事務所で預からせていただいているが、ご自分で財布を管理することを希望されている利用者様に関しては管理していただいている。財布残高も本人様と一緒に確認し、使用時はレシートをもらい、使用状況を把握している。</p> <p>年賀状や暑中見舞いで本人様のできることにチャレンジしていただき、送られたご家族も喜ばれておられる。ご家族と電話で話したいとの要望があれば「レジン」でゆっくお話しできる空間作りを行っている。親しい方々に久しぶりの便りが出せるようにご家族にもお聞かしている。</p>
37	お金の所持や使うことへの支援	<p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や方に応じて、お金を所持し使えるように支援している。</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>安全対策を講じながら、生活感、季節感を取り入れるように工夫されている。新規入居者もすぐに共有スペースで過ごされており、花の香り、音楽、笑い声が聞こえ、和やかな空間ができあがっている。</p> <p>明るく清潔で美しい環境が整えられている。共有スペースは、展示物等、季節の変化が感じられ、見ていると楽しくなる。</p>
38	電話や手紙の支援	<p>家族や大切な人に本人自らが電話をし、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>共用の空間に常に生け花、観葉植物を飾り、季節感を感じ、季節に合わせたインテリア、季節感のある環境作りを試みている。温度、湿度、照明に気を配り、リビングに観葉植物やBGM、様々の映像や体験動画などを流し、その時々々の気分転換につながるようにしている。常に皆様と日常生活から生まれる共同作業が出来やすく、笑いに溢れた空間を作っているようにしている。</p>
39	居心地のよい共用空間づくり	<p>建物内には一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を盛り入れ、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>担当者が中心となって、日々の会話から思いや願いの把握に努めており、食に關しても、本人様の嗜好に合ったメニューを考えている。意思表示が難しい場合でも、日々の言動を元に思いの表現に努めている。</p>
40	本人主体の暮らし	<p>本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている。</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとにケア、支援を受けることができている。</p>
41	本人主体の暮らし	<p>本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとにケア、支援を受けることができている。</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとにケア、支援を受けることができている。</p>

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

42	本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>日々の状況の変化に注意しながら観察し、発言を中心に記録に残し、主治医・歯科医・病棟との連携を図りながら支援を行っている。</p> <p>娘様がマイプロラクティクの資格をもっており、入居を機に、腰痛の訴えのあるお母様に週に一回、施行を受け、屋敷を一緒にするなど、母娘でゆっくりとした時間を過ごしていただいている。また、他利用者様にも定期的な施術を行っていただき、とても喜ばれている。</p>	<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・本人と家族の意向をくみ取り、それを職員間や医療機関等と共有しながら、希望の生活が送れるように配慮されている。</p> <p>・意思表示ができない入居者に対して、本人の意思を確認するには日々の細かな観察と職員間の情報共有が必要である。</p> <p>・発言だけでなく些細な様子を記録に残し、共有することが望まれる。</p> <p>・ポラテアによる入居者への手足等の施術を提案したい。</p> <p>・日常的に管理するという点では、職員に医療従事者がいるとさらに安心できる。</p> <p>・入浴の日数が限定されており、衛生面において不安がある。</p>
43	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	一人ひとりのペースを大切に、自由に生活できるよう支援しており、ご自身のやりたいことを大切に、生活に張りができるようにしている。全員で行う日課には、ほとんどの方が参加されて楽しんでいる。	<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・馴染みの物や使い慣れた物を家族に持ち込める。</p> <p>・入居者に配慮した柔軟な運営がなされていると語う。</p> <p>・居室の様子を見学させていただく機会があればよい。</p> <p>・コロナも落ち着き、家族や来客が徐々に訪問しやすくなっている。</p> <p>・写真が多い介護施設という印象がある。</p> <p>・個室なので馴染みのものを身近に置くことはできている。</p> <p>・大切にしているものを持ち込むことで認知症の進行を防いでいる。</p>
44	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	居室に馴染みのものや使い慣れたものを置いていただき、ご家族との写真を飾って思い出を大切にしたいという家族との写真を可能な限り更新して、ご家族との写真を中心に沢山の家具等を保持され、書斎のように利用されているケースもある。	<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・個室なので馴染みのものを身近に置くことはできている。</p> <p>・大切にしているものを持ち込むことで認知症の進行を防いでいる。</p>
45	本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・入居者は、本人の意向や希望にもって外出をし、催事にも参加できている。</p> <p>・無理強いせず、本人の体調や希望を考慮した対応をしている。</p> <p>・敬老会の参加について、地域によって対応が異なることが会議内で取り上げられた。</p> <p>・今後も、個々のニーズに合わせた柔軟な対応と、多様な選択肢の提供を通じて、より充実した生活を送れるよう支援していく。</p>	<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・個室なので馴染みのものを身近に置くことはできている。</p> <p>・大切にしているものを持ち込むことで認知症の進行を防いでいる。</p>
46	本人が持つ力の活用	<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・入居者は、本人の意向や希望にもって外出をし、催事にも参加できている。</p> <p>・無理強いせず、本人の体調や希望を考慮した対応をしている。</p> <p>・敬老会の参加について、地域によって対応が異なることが会議内で取り上げられた。</p> <p>・今後も、個々のニーズに合わせた柔軟な対応と、多様な選択肢の提供を通じて、より充実した生活を送れるよう支援していく。</p> <p>・ホームページに行事の告知などもあげたい。</p>	<p>A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・個室なので馴染みのものを身近に置くことはできている。</p> <p>・大切にしているものを持ち込むことで認知症の進行を防いでいる。</p>

生活の継続性

本人が持つ力の活用

		<p>活全般において、家で生活にできるだけ近づけるように工夫している。</p>	
47	<p>本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている</p>	<p>Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>本人が持つ力の活用が充分できている。 ・入居者の表情も良く、楽しい会話が飛び交い、和やかな雰囲気を感じ取ることができている。 ・訪問した際に、明るく楽しそうに苑内の雰囲気などがわかる。 ・周囲との会話が困難な利用者は、表情や動作から本人の力をくみとり、活かす努力がされている。 ・明るく声掛けをする等、積極的なコミュニケーションが工夫されている。 ・消極的な入居者を取りこぼすことなく関わられている。 ・入居したので制限はあるが、職員の手続きで入居者のイキイキ度が得られている。</p>
48	<p>本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている</p>	<p>Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>「地域との交流」という記録のまとめ方を新しく設け、これまで数件の事例はあるが、または単に数回も少なく十分とは言えない。地元である利用者が、それぞれに関わりを大切にされている人や店であれば、繋がりを持てるように支援している。また、近所の方にお花や野菜などの提供をいただいた際には、苑内でも交流していただけるようにしている。</p> <p>・入居者は、自分なりに近隣や地域の人々と交流できている。 ・感染症の影響で交流は制限されているが、今後は窓口が広くお話し交流が盛んになると話している。 ・制限があるなかで、近隣や地域の方々との交流があるのはありがたい。 ・ボランティアや地域住民の協力により、地域交流をより充実したものにしている。 ・今後も、感染症対策を講じながら、地域との連携を強化し、入居者のニーズに合わせた多様な交流プログラムを提供していくことが望まれる。</p>
49	<p>本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と話し、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>本人様が、ご家族との関係性を作る場として、苑での生活を充実したものにし、新たな生活の場として生き甲斐をもちたいだけのように、ご自身の趣味を復活させたり、これまでの習い事を日課に取り入れるなどの支援をしながら、苑での生活がよりよいものになるよう、安心して暮らしていただく家となることを目指している。 ・今年度は、看取りや新入居など多様なニーズに対応出来るか、個々のニーズに課される一年であった。</p> <p>・入居者は、のぞみ苑に入居することで安心感を得て、より良い日々を送れている。 ・少人数施設だからこそ、家庭的な雰囲気ができている。 ・個々のニーズに合わせた柔軟な対応と温かい雰囲気を通じ、入居者の安心感とQOL向上に貢献している。</p> <p>Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p> <p>・趣味や習い事を日課に取り入れるなど、安心して生活できるように工夫されている。 ・入居者がすべりに打ち解けられるような環境づくりができている。 ・入居者とのコミュニケーションがしつかりできている施設という印象がある。 ・取山の屋内外での活動を計画実施し、苑だよりで知らせただけのものはありかない。 ・充実した生活ができる所だと思っている。日常の会話の中から不安なく暮らせるように工夫されている。理解のグループホームだと思う。 ・総合的にとても満足している印象がある。</p>
総合			

